

宮古公共職業安定所発表
平成27年5月28日(木)

担当	宮古公共職業安定所 所長 天願秀美 統括職業指導官 大兼久康弘 電話 0980-72-3329
----	--

宮古島市・宮古地区県立学校校長会・宮古公共職業安定所

3者による高卒求人の早期提出を要請

～管内主要企業に対する要請～

景気の回復をうけて、管内の雇用情勢は改善傾向にあり、平成27年3月新規高卒者の就職内定率は96.7%と前年同月93.2%を3.5ポイント上回っています。

このような状況の中、新規高卒者のさらなる雇用環境改善へつなげるためには、企業・行政の積極的かつ継続的な取組が不可欠であることから、宮古島市・宮古地区県立学校校長会・宮古公共職業安定所の3者にて下記のとおり新規高卒者の採用枠の確保と求人の早期提出について要請を行いました。

記

- 1：要　請　先　　株式会社パラダイスプラン　代表取締役 西里長治
- 2：要　請　日　時　平成27年5月27日(水) 16時30分～17時
- 3：場　　所　　株式会社パラダイスプラン 会議室
- 4：要請行動参加者　　宮古島市 副市長 長濱政治
　　　　　　　　　　宮古地区県立学校校長会 会長 平良智枝子
　　　　　　　　　　宮古公共職業安定所 所長 天願秀美

株式会社パラダイスプランに高卒求人早期提出を要請

日時：平成27年5月27日（水）16：30～17：00

場所：株式会社パラダイスプラン 会議室



宮古島市長濱副市長より要請書を読み上げる。



(株)パラダイスプランの西里代表へ要請書を手交。



西里代表よりあいさつ。「高卒者を受け入れて立派な社会人に育てることが我々の責務の一つ。若い力を取入れて、宮古から世界へ羽ばたいていきたい」と力強いお言葉をいただきました。



(左)平良 慎也さん 製塩所にて雪塩の製造に携わる。(宮古総合実業高校 卒業)



(右)下里梨絵子さん パン工房「麦のうた」で製造や接客に携わる。(宮古工業高校 卒業)

平成26年度に入社した宮古管内高等学校卒業生にも参加いただきました。入社から1年、社会人としての成長ぶりを伺うことができました。



(左)下里梨絵子さんよりメッセージ

「働くのは全くの初めてで緊張したが、学生生活とは違った楽しさがあります。多くのことを知って、学べて充実しています。働いてからしかわからないことがたくさんあるが、やりがいや楽しさのほうが大きいので、頑張ってほしいと思います。」

(左)平良 慎也さんよりメッセージ

「就職活動の中、対人関係が不安だったが、従業員に明るく優しく接してもらい助かりました。入社後は自分から聞くことで先輩に優しく教えてもらえ、向上心につながっています。後輩の皆さんも積極的に行動してほしいと思います。」



写真左から、パラダイスプラン上原監査役、下里さん、平良さん、西里代表取締役、長瀬副市長、宮古地区県立学校校長会会長 平良校長、天願宮古公共職業安定所長

●平成27年5月28日付、地元の新聞社2社（宮古毎日新聞、宮古新報）にも記事として掲載いただきました。

請要人求人の著者本高斯

市、地区県立学校長会、ハローワーク採用協議会と求人登録提出を

宮古島市と宮古地区公立学校長会、宮古公共職業安定所（ハロー・ワーカー宮古）の長瀬政治副市長、平良智校子会長と天願秀美所長は27日、パラダイスプラン（西里長治社長）に2016年3月高校卒業予定者の求人に協力を求める要請行動を行った。要請書を手渡し新規高卒者の積極的な採用に理解と協力を求めた。

長瀬副市長は「新規高卒者の雇用環境改善につながるためには、企業・行政の積極的な取り組みが不可欠。6月22日に新規高卒者の求人受付が始まるので、早期

「地域を担う企業の一人として、新卒を含む地域の皆さんの受け皿にならなければならぬ。受け入れた新卒の皆さんは立派な社会人として、世界に羽ばたく人材に育てたい」と述べた。

15年3月に卒業した既卒者の中の求人・就職状況(会員登録者未現在)は、求人件数が50人、求人倍率は0・55倍で、就職内定率は96・7% (前年同月比3・5%上昇)だった。



西里社長（中央）に要請した（右から）天願所長、平良会長と長濱副市長＝27日、パラダイスプラン

平成27年5月28日(木)

宮古毎日新聞

求人早期提出を要請

16年春新規
高卒予定者

市、校長会、職安合同で

宮古島市 下地敏彦市長と宮古地区県立等校校長会（会長・平良智校子伊良部高校校長）、宮古公共職業安定所（天願秀美所長）は27日、市内企業への2016年3月新規高校卒業予定者の求人要請を開始した。長瀬政治副市長と平良会長、天願所長らがパラダイスアラン（西里長治社長）を訪ね、地域発展のためにも「新規高卒者の採用枠の確保と求人票の早期提出」について理解と協力を求める要請書を手渡した。

西里社長は「地域を担う企業人の一人として、地域のみなさんの受け皿にならなければならない。高卒者を受け入れ、立派な社会人に育てるのも我々の責務の一つ。若い力をどんどん取り入れ、

宮古から沖縄、日本、世界へと羽ばたいていきたい」と意欲を見せた。

要請では、15年3月末の新規高卒者の就職内定率は96.7%（前年度比3.5ポイント上昇）で、さらなる雇用環境改善には企業・行政の積極的かつ継続的な取り組みが不可欠とい、6



（右3人目から）長瀬副市長らから要請書を受け取った
西里社長と平良さん、下里さん＝パラダイスプラン

月22日の新規高卒者求人受付開始に向けて、島内での優秀な人材の確保や希望者からの選択の幅の拡大による早期離職の防止などの観点から採用枠の確保と求人の早期提出を求めている。14年度入社で平良狩俣の製塩所に勤務する平良慎也さん（宮古総合事業高校卒）が「就職活動の中、対人関係が不妥だったが、従業員に明るく優しく接してもらえた。先輩に優しく教えてもらおう」と話す。自分から聞くことを積極的になることを心がけている。自分から聞くことは運びながら、「同じく、島の駅みやこのパン工房『妻のうた』で製造や接客に携わる下里梨絵さんは「働くのは全くの初めてで、充実している。働いてからでも全くのことを知って、学べて楽しいことがあるが、やりがいや楽しさの方が大きいので頑張ってほしい」と語った。

平成27年5月28日(木)

宮古新報

要　請　書

株式会社 パラダイスプラン
代表取締役 西里長治 殿

平成28年3月新規高等学校卒業予定者に係る求人要請について

本地区の職業安定・教育行政の業務運営につきましては、平素から格別のご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、わが国の経済状況として景気は拡大傾向にあり、宮古所管内の平成27年3月の有効求人倍率も0.97倍と高い水準にあります。

こうした状況を新規高卒者の雇用環境改善へつなげるためには、企業・行政の積極的かつ継続的な取組が不可欠です。

新規高卒者の求人受付は、6月22日から開始されますが、宮古所管内の求人の中には9月以降提出されるものもあり、これが島外の求人に応募する一因ともなっています。

早期の就職を求める島内の就職希望者が、やむをえず島外での就職活動をすることは、地域の産業・就業構造の高齢化を招き、地域社会にとっても社会を支える人材の育成・確保に深刻な影響を及ぼすことが懸念されます。

就職希望者にとりまして、早めの求人提出は早い段階での就業意識を高めることになり、採用内定率の向上はもとより、就職後の早期離職防止も期待できます。

つきましては、新規高卒者の採用枠の確保と早期の求人票の提出について、ご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

平成27年5月27日

宮　古　島　市　長　　下　地　敏　彦
宮古地区県立学校長会長　平　良　智枝子
宮古公共職業安定所　長　天　願　秀　美
(公印省略)